学校番号	204

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史探究」（実教出版）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）、日本史探究　マイノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在とは、過去の積み重ねである。過去を知ることは、現在を知ることにつながる。そのため、原因と結果だけでなく、その過程を意識しながら学んでもらいたい。また、教科書だけでなく、諸資料を使って知ることのできる過去の事象をもとに、現在にみられる様々な事象の背景を理解する力を養うことで、思考の幅を広げてもらいたい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・日本の歴史について、地理的条件や世界の歴史との関連の中で展開してきたことを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ・まとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・日本の歴史について、現在とのつながりに注目するなど、様々な視点から考察し、それらを効果的に説明する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・日本の歴史を学ぶ中で、課題に主体的に取り組む態度を養い、日本社会を構成する一員としての意識や他国の文化を尊重することの大切さなどへの自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史について、地理的条件や世界の歴史（特に東アジア世界）との関連の中で展開してきたことを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ・まとめる技能を身につける。	日本の歴史について、それぞれの事象の意味や意義、伝統や文化としてみた場合の特色などに注目したうえで、時期や推移、事象相互の関連や現在とのつながりなどから多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明・議論する力を養う。	日本の歴史を学ぶ中で、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察から育まれる日本社会に対する理解や愛情、構成する一員としての意識、他国の文化を尊重することの大切さなどへの自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	原始・古代の日本と東アジア	・旧石器文化 ・縄文人のくらし ・弥生人のくらし ・古墳とヤマト政権 ・飛鳥文化 ・律令国家の形成	a:旧石器時代から飛鳥時代までの歴史を東アジア世界との関連の中で理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:それぞれの時代における事象の意味や意義、文化の特色などを多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明することができる。 c:課題を主体的に探究し、日本の歴史に対する理解を深めるだけでなく、他国の文化も尊重しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークノート プリントファイル
		・奈良時代の政治 ・天平文化 ・律令政治の再建と平安初期の文化 ・摂関時代の政治 ・東アジアの変動と国風文化	a:奈良時代から平安時代中期までの歴史を東アジア世界との関連の中で理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:それぞれの時代における事象の意味や意義、文化の特色などを多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明することができる。 c:課題を主体的に探究し、日本の歴史に対する理解を深めるだけでなく、他国の文化も尊重しようとしている。	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	ワークノート プリントファイル パフォーマンス課題

2学期	中世の日本と世界	・中世社会の成立 ・中世国家の形成 ・「武者の世」のはじまり ・鎌倉幕府の誕生 ・鎌倉幕府の勢力拡大 ・鎌倉文化	a:平安時代中期から鎌倉時代初期までの歴史を東アジア世界との関連の中で理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:それぞれの時代における事象の意味や意義、文化の特色などを多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明することができる。 c:課題を主体的に探究し、日本の歴史に対する理解を深めるだけでなく、他国の文化も尊重しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークノート プリントファイル
		・鎌倉仏教と鎌倉文化 ・モンゴル襲来と鎌倉幕府の滅亡 ・建武政権の崩壊 ・室町幕府の政治の推移	a:鎌倉時代から室町時代初期までの歴史を東アジア世界との関連の中で理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:それぞれの時代における事象の意味や意義、文化の特色などを多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明することができる。 c:課題を主体的に探究し、日本の歴史に対する理解を深めるだけでなく、他国の文化も尊重しようとしている。	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	ワークノート プリントファイル パフォーマンス課題
3学期	中世の日本と世界	・元寇後の東アジア交流 ・一揆の成立と中世の自治 ・中世の産業、商業、流通 ・戦国時代の開始 ・１４～１６世紀の文化	a:室町時代から江戸時代初期までの歴史を東アジア世界との関連の中で理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:それぞれの時代における事象の意味や意義、文化の特色などを多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明することができる。 c:課題を主体的に探究し、日本の歴史に対する理解を深めるだけでなく、他国の文化も尊重しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	ワークノート プリントファイル パフォーマンス課題
	近世の日本と世界	・近世初頭の東アジア情勢 ・信長と秀吉の天下統一 ・信長・秀吉の時代の文化 ・幕藩体制の成立と江戸時代の社会				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度